

令和3年度

地域と学校の連携・協働推進フォーラム

令和3年12月1日(水) 邑楽町中央公民館 邑の森ホールにおいて、本フォーラムを開催いたしました。本事業は、学校・家庭・地域のよりよい連携・協働の推進をテーマに開催し、昨年度はコロナ禍のため開催できませんでしたが、今回で18回目の開催となりました。複雑・多様化した現代社会の様々な課題を解決するため、幅広い地域連携を生かした公民館と学校の先進的な取組や、そうした地域連携がもたらす実際の効果等について情報提供をすると共に、学校・家庭・地域・行政のそれぞれの役割について共通理解を進めることを目的としています。本事業の内容等については以下のとおりです。

「地域と学校の連携・協働に必要なこと」

～地域と学校をつなぐゴールとは～

文部科学省総合教育政策局CSマイスター 前川浩一氏をお迎えして、講演及びワークショップを行っていただきました。前川氏は現在長野県で地域学校協働活動コーディネーターとして御活躍されています。その経験を生かした、具体的で実践的な御講演とワークショップを行っていただきました。



事例発表

「渡瀬公民館と館林市立第九小学校合同防災訓練」



事例発表では、館林市渡瀬公民館長 酒井一好氏から、館林市立第九小学校との連携・協働について御発表いただきました。コミュニティ・スクールである第九小学校との連携・協働の事例発表は、まさに現在、文部科学省が目指している地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進に関する素晴らしい事例発表でした。今後の更なる取組が、市内で行われることと思います。

【参加者の声】

- 講師の熱意がよく伝わり、どの地域においても今回のような事例を参考に進めていけば「豊かな心」を持つ子どもの育成が図られると思う。
- 子どもの力を引き出すことと親・地域が活性化する仕組みが素晴らしい。子どもの目線や心に気を配りながらボランティア活動をしたい。
- 地域の一人一人が主体的に考え、実行することが重要だと感じた。
- 酒井館長の実践発表は、温かく地域を見守る姿勢が出ていて、とても良かった。
- 公民館が学校と地域の思いや願いの橋渡しをしたい。